育心

発行責任者：秦野市教育研究所長　柏木　荘一
発行日：平成27年7月16日（木）
〈秦野市教育研究所〉
住所：秦野市桜町 1-3-2　　電話：0463-86-9102
e-mail：k-kenkyu@city.hadano.kanagawa.jp
URL：http://www.city.hadano.kanagawa.jp/k-kenkyu/kenkyu.html

「　流　行　」

教育研究所長　柏木　荘一

「新たないじめの形態：ネットいじめ」という言葉が流行して１０年経ちます。ネットというカテゴリー内でツールや手段が進歩？し続けていることは事実ですが、今でも「ネットいじめ」を「新たな形態」とすることに、どこか違和感があります。

５月に開催した、新規採用及び転任採用教員研修会で、「流行」について話しました。その中で、これまでの通貨概念を覆すとでも言いましょうか、「ビットコイン」という仮想通貨の問題点について、子どもたちが犯罪に巻き込まれなければ、また、文字通り新たないじめの形態にならなければ、という思いで触れました。

子どもたちを取り巻く環境が日々変化する中、「居着き」とならないよう、“じょうほう・ひと・もの”が溢れる今の時代を生きるためには何が必要かをしっかりとリサーチし、先見の明をもって、教育研究に取り組んでいきたいと思っています。ご支援・ご協力をお願いいたします。

平成 27 年度　教育研究所　研究部会

秦野市における今日的な教育活動のニーズに応えるため、３部会を組織し、16 名の小中学校教員が研究員として研究活動を進めています。研究員及び研究内容を紹介します。

小学校社会科研究部会（１年間）

・田中　宏道（南小）　・加藤　琢也（東小）
・小林　達馬（大根小）・加藤　彩　（堀川小）

小学校社会科資料集「わたしたちのまち　はだの」について、６年ぶりにデータや図等を見直し、改訂を行います。

学校 ICT 推進研究部会（１年間）

・吉田　正也（渋沢小）・浅見　恵利（大根中）
・松永　雅史（末広小）・小坂　洋　（鶴巻中）
・渡辺　恵美（広畑小）・山口　航　（北中）

校務の効率化や分かりやすい授業のためのＩＣＴ機器活用について、小中一貫を見通し研究を進めます。

小中一貫教育（地域・郷土）研究部会（２年目）

・田内　みゆき（北小）・上田　智美（南が丘小）
・添田　士郎（西小）　・三輪　哲也（本町中）
・佐藤　雄彦（南中）　・三嶽　雅彦（鶴巻中）

秦野の地域・郷土について研究し、郷土資料「秦野ふるさとめぐり」について内容を最新のものに改訂します。

研究の成果をぜひご活用ください

平成26年度刊行　研究紀要・自主研究レポート等

第９４集　『フリプリ－算数・数学振り返りプリント集－　～資料の活用領域編～』

小中一貫教育（算数・数学）研究部会

「フリプリ」とは振り返ることのできるプリントの愛称です。本研究部会では、これまで小中一貫を見通した補助教材づくりを進めてきました。『現場にいる先生方が本当に利用できるようなもの』をというコンセプトのもとに、『計算領域編』『関数領域編』『図形領域「平面図形」編』『図形領域「空間図形」編』に続き、第５弾『資料の活用領域編』を作成しました。各プリントは小学校・中学校ともに、１時間の授業を振り返る際に利用できる内容と量になっています。右ページには解答が載り、また学習につまづいたときに、どこへ戻って復習すればよいかが示されているので、各自のペースで取り組み、振り返ることができます。CD-ROM 版も各小中学校に送付してありますので、併せてご活用ください。また秦野市教育研究所のホームページからも利用できます。

第９５集　『Let's enjoy sports!!　楽しく学べる授業づくり　幼小中一貫教育における体育科・保健体育科の指導のあり方　～ゲーム・ボール運動・球技領域（ゴール型）を中心に～　』

幼小中一貫教育（保健体育）研究部会

平成２４年度の「ネット型」、平成２５年度の「ベースボール型」に続き、「ゴール型」についての指導資料を作成しました。今回は、これまでの「小中」に加え、初めて「幼小中一貫」の視点を取り入れました。「ゴール型」の運動領域を中心に、子どもがいかに運動の楽しさやできる喜びを味わえるかについて、理論の研究を実際の保育・授業を通して検証した取組が詳しく記されています。この紀要を活用することで、幼稚園・こども園、小・中学校の先生方の協働的な取組がさらに高まることを期待しています。

「報徳を広めた功労者　安居院庄七と草山貞胤」

小中一貫教育地域・郷土研究部会

平成２５年度に行われた報徳サミット秦野市大会を機会に、二宮尊徳とその教えを広め実践した、安居院、草山両氏の偉業について改めて編集・整理しました。小学校高学年児童から中学生を対象として、「総合的な学習の時間」や自由研究などで活用したり、道徳の補助教材として活用したりすることを願い、作成しました。簡単なリーフレットでは足らないが、その他の文献では難しすぎるような場合には最適です。教職員及び各小中学校に５０冊ずつ配付いたしました。

小中一貫教育社会科資料集『私たちの秦野〔第２版〕』

小中一貫教育（社会科）研究部会

平成２４年度に初版を刊行した、小学校５年生から中学校３年生まで使用する社会科資料集の第２版を作成しました。地理的分野のデータや図表を最新のものに変更し、新しく商業の分野を盛り込むなどの改訂を行いました。また公民的分野についても新しい写真を多く取り入れ、子どもたちがふるさと秦野について理解を深め、身近に感じながら学習できるように工夫しました。第２版は、今年度の小学校５年全児童に配付されています。

自主研究レポート集　３１『探究』

１．　テーマ「３年間をかけて深める国際理解教育について」
～授業実践と姉妹校との交流を通して～　　渋沢中学校　石井　陽子　教諭

２．　テーマ「視聴覚教材の効果的な活用について」
～保健授業における授業実践を通して～　　鶴巻中学校　後小路　大志　教諭

世界中の地域における子どもたちの現状について学ぶ授業実践やパサデナ市の姉妹校との交流などを通した国際理解教育について、また、生徒の興味を引きつけ生徒自身が考えながら学びを深める視聴覚教材を活用した授業実践について、２名の中学校の先生よりレポートが寄せられました。８月１９日開催の教育研究発表会で、その内容をご紹介いただきます。

防災教育研修講座

テーマ　：「まもるいのち　ひろめるぼうさい　～青少年赤十字防災教育プログラムより～」
講　師　：　日本赤十字社神奈川支部　青少年赤十字担当職員

５月１４日（木）に、はだのこども館多目的ホールにおいて防災教育研修講座を開催しました。自然災害が発生した際に自ら命を守るため、児童・生徒に対する防災意識の普及を図ること、教職員の防災意識を高めることを目的としました。

日本赤十字社が気象庁と協力して作成した青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち　ひろめるぼうさい」から「いざという時には、みんなで協力することが大切」という観点から、コミュニケーション能力やチームワークを高めるグループワークを取り入れました。「防災教育の考え方が変わりました。子どもだけでなく、学校内でも共通理解をしたほうがよいと感じました。」と、参加者から感想をいただきました。多くの参加者が、グループワークを通して、防災教育のヒントを得ることができたようです。

協議を深めた教育セミナー　６月に2回開催

平成 ２６年度の研究成果の報告及び教職員の研修のため、２ 回の教育セミナーを市役所西庁舎において開催しました。報告を行ったのは社会科研究部会と保健体育教育研究部会です。

第１回 教育セミナー

小中一貫教育社会科研究部会

平成２７年６月１（月）

平成２５～２６年度にかけて作成・編集し、平成２７年３月に刊行した、小中一貫教育社会科資料集『私たちの秦野』〔第２版〕の活用について情報交換を行うとともに、秦野の歴史について、生涯学習課の協力も得ながら小中一貫した指導のあり方について研修を行いました。希望の学校には、生涯学習課文化財担当より、秦野市の出土品を配付していただく企画を行いました。参加の先生方からは、今後の授業に活用していきたい、とのお声をいただきました。

第２回 教育セミナー

幼小中一貫教育保健体育研究部会

平成２７年６月９日（火）

平成２６年度幼小中一貫教育保健体育研究部会研究員が、前述の紀要に沿って研究成果を発表しました。現在の体育・保健体育科における「型」をベースとした学習では、学習成果の「転移」を効果的にねらっていくことが重要となります。「ゴール型」においては、特に「ボールを持たないときの動き」についてこの効果が期待されます。発表では、このような観点からの研究内容を中心に、検証授業の映像を用いながら報告がされました。異校種を交えてのグループ別協議・情報交換では、各園校での「ゴール型」（または「ゴール型につながる運動」）の取組や、幼小中一貫教育の視点を踏まえた今後の取組について、活発な話し合いが行われました。

夏期開催の研修講座

月	日	曜	時間	研修名	場所	講師等
7	29	水	14:30-16:30	公開講座	堀川公民館	グリー株式会社 鈴木　織江　氏
7	30	木	10:00-12:00	ＩＣＴ活用研修講座① （電子黒板機能付きプロジェクター）	末広小学校	日立ソリューションズ 遠山　寛幸　氏
7	30	木	13:30-15:30	ＩＣＴ活用研修講座② （書画カメラ）	末広小学校	エルモ社 丹羽　亜希子　氏
8	19	水	13:30-16:30	第３３回教育研究発表会	文化会館	平成２６年度教育研究所 研究員、育む懇談会事務局等
8	24	月	14:00-16:00	環境教育研修講座	市役所西庁舎	東海大学准教授 岩本　泰　氏

多くの先生方のお申込み、ありがとうございました。